

おわりに

本業務では、中長期的な再生可能エネルギーの普及見通しについての定量的な検証と普及を実現させるための方策をとりまとめるとともに、地域における再生可能エネルギービジネス振興方策をとりまとめることを目的として調査を行った。

特に、今年度は3ヶ年の検討の初年度として、国内外の実態調査を通じて、①再生可能エネルギー導入加速化の必要性、②世界全体・国内外における現状及び将来見通し、③再生可能エネルギーの大量導入に向けた課題と対応方策、④再生可能エネルギーの導入見込量、⑤再生可能エネルギーの導入に伴う効果・影響分析、⑥ロードマップの改定と今後の課題、についてとりまとめを行った。特に再生可能エネルギービジネス振興方策については、③の中で集中的な検討を行った。

今年度の調査を通じて得られた今後の課題を踏まえつつ、来年度は以下の点を中心に検討を進める必要がある。

- ・ 再生可能エネルギーの大量導入について、技術的、社会的な外部費用も含めた経済的な実現可能性の検証
- ・ 国内の再生可能エネルギー普及状況、施策の施行実施状況を踏まえ、関係者からの経済的、非経済的障壁の洗い出し
- ・ 再生可能エネルギービジネス振興方策、再生可能エネルギー熱普及方策、2050年までの系統影響分析、再生可能エネルギー普及のための需要側対策、モデル地域（自治体レベル）での再生可能エネルギー普及計画策定

また、特に支援策が遅れている再生可能エネルギー熱について、集中的に検討する必要がある。